

平成27年度
(第5期)

事業状況報告書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

事業状況報告書

本年度は、主な事業として、表彰、研究助成、講演会、標準化、自主研究などの事業を実施し、所期の成果を挙げ、ウェアリング技術の向上、発展及び普及啓発に貢献した。

1. 会 議

- (1) 理 事 会
 - 平成27年 5月28日(木) [第9回]
 - 平成28年 3月 2日(水) [第10回]
- (2) 評 議 員 会
 - 平成27年 6月26日(金) [第9回]
 - 平成28年 3月10日(木) [第10回]
- (3) 審 査 委 員 会
 - 平成28年 2月17日(水)

2. 主要事業の概要

2. 1 スガウェアリング財団賞表彰及び研究助成

(1) 第33回表彰・第34回研究助成 贈呈式並びに記念祝賀会開催

平成27年4月22日(水)、東海大学校友会館において安藤慶明文部科学省大臣官房審議官ご臨席の下、スガウェアリング財団賞表彰及び研究助成贈呈式並びに記念祝賀会を開催、次の表彰・助成を行った。

[表 彰] 特別技術功労賞…3件

[助 成] 研 究 助 成…7件 … [別添資料①]

(2) 第34回表彰・第35回研究助成の候補者募集

募集期間は平成27年7月～11月末までとし、全国の大学及び学会・協会・産業界・団体等約280機関に対して推薦を依頼した。

(3) 第34回表彰・第35回研究助成の選考及び決定

春山志郎審査委員長及び須賀茂雄審査委員が中心となって、書類選考並びにヒアリングを、平成28年2月2日(火)、2月3日(水)、2月9日(火)に実施した後、平成28年2月17日(水)審査委員会において審査し、次の表彰・助成を選考、平成28年3月2日(水)第10回理事会において決定した。

[表 彰] 科学技術賞(個人)…1件
科学技術功労賞…1件

[助 成] 研 究 助 成…9件 … [別添資料②]

表彰・研究助成贈呈式は、平成28年4月26日(火)東海大学校友会館にて開催。

2. 2 学術講演会

下記の通り東京・大阪にて講演会を開催し、ウェザリング技術の普及啓発を行った。

第61回スガウェザリング学術講演会〔東京講演〕

開催日：平成27年10月20日（火）
場 所：アルカディア市ヶ谷（3階富士の間）
聴講者：300名

第62回スガウェザリング学術講演会〔大阪講演〕

開催日：平成27年10月27日（火）
場 所：大阪国際会議場（12階特別会議場）
聴講者：200名

…〔別添資料③〕

2. 3 標準化事業

本年度は、ウェザリング技術に関する標準化事業として、下記規格の改正原案の作成を行った。

JIS L 0888（光及び汗に対する染色堅ろう度試験方法）改正（継続中）

2. 4 自主研究

(1) 耐候光・降雪研究

塗装板、プラスチックについて、新宿・沖縄・アリゾナでの屋外暴露試験と各種促進耐候性試験との相関性研究（2009年～2016年）を行い、その成果の一部を第61回・62回スガウェザリング学術講演会で紹介した。

また、新たに第3回屋外暴露と各種促進耐候性試験との相関研究（2014年10月～2017年3月）を実施した（継続中）。

(2) 腐食研究

①屋内で大気暴露した金属材料の世界各地における腐食挙動を定量的に把握し、これら金属材料を用いる製品の長寿命化・高信頼性化対策に寄与することを目的として、データベースの構築に取り組んだ。対象材料は炭素鋼、亜鉛、銅、銀、ニッケル、すずとした（継続中）。

②IEC 60068-2-60をはじめ、ISO 6988などに規定されるガス腐食試験におけるガス濃度測定や試験結果について研究を行った（継続中）。

③新たに屋外暴露と各種腐食促進試験との相関研究（2014年10月～2017年3月）を実施した（継続中）。

2. 5 普及啓発事業

(1) 学術講演会開催に当り、「第61回・62回 スガウェザリング学術講演会要旨」を発行。講演会参加者に配布すると共に、以後関係者に配布し、ウェザリング技術の普及活動を行った。

(2) ホームページを活用し、当財団の事業や活動実績を紹介した。

3. 外部団体への協力

3. 1 外部団体等の研究への参画及び協力

当財団より下記委員会に委員を派遣し、協力した。

- (1) 日本学術振興会染色堅ろう度134委員会
- (2) 繊維評価技術協議会 ISO/TC38 国内対策委員会
- (3) 経済産業省 日本工業標準調査会 消費生活技術専門委員会

3. 2 外部団体の会議開催などの協賛及び協力

- (1) (一財)日本ウエザリングテストセンター主催の「平成27年度ウエザリング技術研究成果発表会」に協賛した。
〔平成27年11月26日(木)、27日(金) 於：メルパルク東京、銚子暴露試験場〕
- (2) (一財)日本規格協会主催の「JIS Z 2371 規格説明会」に協賛した。
〔平成27年10月7日(水) 於：(一財)日本規格協会 三田MTビル〕

第33回 スガウエザリング財団賞 表彰

[特別技術功労賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1.	おんださとし 恩田智士 三菱レイヨン(株) MMA 管理部 担当部長	プラスチックの黄色度測定方法の 研究並びに JIS 制定及び国際標準化	日本プラスチック工業連盟
2.	しのはら ただし *1 篠原 正 たはら あきら *2 田原 晃 (独)物質材料研究機構 *1 グループリーター *2 主任研究員	大気腐食に関するデータの取得と 情報発信	(公社) 腐食防食学会
3.	よしだこういち 吉田公一 横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 客員教授	材料及び構造の環境・性能試験に係 る国際基準・規格の構築	横浜国立大学

第34回 研究助成

	贈呈者	助成課題	推薦団体	助成金額
1.	かねこけんたろう 金子健太郎 京都大学 大学院工学研究科 助教	高緻密性酸化クロム薄膜の耐摩 耗・耐酸性コーティング膜への応用	京都大学	50 万円
2.	さかいたけのぶ 坂井建宣 埼玉大学 研究機構研究企画推進室 准教授	炭素繊維強化複合材料の疲労特性 への時間-温度換算則の適用	埼玉大学	50 万円
3.	ながさきひであき 長崎秀昭 東京農工大学 大学院工学府 機械システム工学科 特任助教	二酸化錫膜の酢酸腐食を利用した 太陽電池モジュール内微量酢酸検 出センサの開発	東京農工大学	50 万円
4.	ひろはたみきひと 廣畑幹人 名古屋大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 助教	鋼製橋梁の現場補修施工における 防食塗装の性能評価	名古屋大学	50 万円
5.	ふくしまたつや 福島達也 京都大学 化学研究所 助教	塗布型有機薄膜太陽電池の耐候性 に関する研究	京都大学	100 万円
6.	もりしげだいき 森重大樹 関西大学 化学生命工学部 化学・物質工学科 助教	Mg-Li 系合金の Al 添加による耐食 性向上	関西大学	100 万円
7.	やぐちひろひさ 矢口博久 千葉大学大学院 融合科学研究科 情報科学専攻 教授	AIC2015 Tokyo 開催	日本色彩学会	50 万円
			合計	450 万円

第34回 スガウェザリング財団賞 表彰

[科学技術賞(個人)] 本賞:表彰状 副賞:(1)正倉院記念楯 (2)賞金50万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	さとみかづいち 里見多一 日本パーカラライジング株式会社 代表取締役社長	ウェザリング技術を基盤とした クロムフリー表面処理技術の開 発と普及	(一社) 表面技術協会

[科学技術功労賞] 本賞:表彰状 副賞:(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

2	いとうみきや 伊藤幹彌 (公財)鉄道総合技術研究所 材料技術研究部 上席研究員 GL (防振材料)	材料積層による高分子材料の信 頼性向上に関する研究	(公財) 鉄道総合技術研究所
---	--	------------------------------	-------------------

第35回 研究助成

	贈呈者	助成課題	推薦団体	助成金額
1	いしやまひろき 石山央樹 中部大学 工学部建築学科 講師	雨水に対して耐久性の高い木造 ディテールの評価	中部大学	50万円
2	いまもとけいいち 今本啓一 東京理科大学 工学部第二部建築学科 教授	実環境下における建築用外装仕 上げ材の耐用年数予測手法と軀 体保護効果の定量評価に関する 研究	東京理科大学	100万円
3	おかやまたかゆき 岡山隆之 東京農工大学 大学院農学研究院環境資源物質科学部門 教授	アコースティック・エミッショ ン法を用いた脆弱化した紙資料 の劣化度測定システムの開発	東京農工大学	50万円
4	かいぬましげのぶ 貝沼重信 九州大学 大学院工学研究院社会基盤部門 准教授	塗膜傷劣化の複合性と電気化学 機構を考慮した鋼構造物の経時 腐食損傷シミュレータの開発	九州大学	50万円
5	かねまつひでゆき 兼松秀行 鈴鹿工業高等専門学校 校長補佐 材料工学科 教授	溶射によるバイオフィルム制御 と大気腐食抑制に関する研究	(一社) 日本溶射学会	50万円
6	くぼてらけん ご 窪寺健吾 (地独)東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ繊維・化学グループ 主任研究員	フレキシブルセンサの屋外耐候 性に関する研究	(地独) 東京都立産業 技術研究セン ター	50万円
7	くろだせいじ 黒田聖治 物質・材料研究機構 先進高温材料ユニット ユニット長	2016年度 ISO/TC 107 (金属及 び無機質皮膜) 日本開催	(一社) 表面技術協会	30万円
8	ただえいじ 多田英司 東京工業大学 大学院理工学研究科 准教授	オーステナイト系ステンレス鋼 の大気環境応力腐食割れにおけ るき裂発生・進展機構の解明	東京工業大学	50万円
9	よねづあきお 米津明生 中央大学 理工学部精密機械工学科 准教授	高分子材料のマイクロスケール 耐候劣化層の短時間診断技術	中央大学	100万円
			合計	530万円

(敬称略)

第61回 東京・第62回 大阪
スガウェザリング学術講演会

61 th TOKYO, 62 th OSAKA
SUGA ACADEMIC SEMINAR : WEATHERING

〔第61回 東京〕開催日：平成27年10月20日（火） 会場：アルカディア市ヶ谷 3階富士の間
〔第62回 大阪〕開催日：平成27年10月27日（火） 会場：大阪国際会議場 12階特別会議場
(グランキューブ大阪)

テーマ：屋外暴露と促進試験

9：45～9：55 開会のご挨拶

- [1] 9：55～10：45 **プリント物の屋外耐候性試験標準化における種々検討**
キヤノン株式会社 インクジェット事業本部 インクジェット材料開発センター
インクジェット材料 21 開発室 主任研究員 **一ノ瀬博文 ▶ P. 3**
- [2] 10：55～11：55 **国家材料環境腐食研究の建設**
中国工程院 院士 中国科学院海洋研究所 研究員 **侯保荣 ▶ P. 25**
- 11：55～13：00 休憩
- [3] 13：00～14：10 **腐食試験は何ができ、何を期待すべきなのか？**
VOLVO CAR CORPORATION
Technical Leader **Mats Ström ▶ P. 39**
- [4] 14：20～14：50 **【特別講演】**
ヒトの劣化と腸内細菌との関連
聖路加国際病院 消化器・一般外科 医長 **大東誠司 ▶ P. 55**
- [5] 15：05～15：55 **金属建材用塗膜の屋外暴露試験と促進試験との相関性-2**
関西ペイント株式会社 汎用塗料本部 防食製品技術部 課長 **松田英樹 ▶ P. 69**
- [6] 16：05～16：55 **屋外暴露試験と各種促進耐候性試験との相関研究（第四報）**
スガウェザリング技術振興財団 耐候光研究委員会 **田中丈之 / 渡辺真 ▶ P. 87**

(敬称略)

後援：文部科学省

協賛：(公社)高分子学会 (一社)色材協会 (公社)自動車技術会 写真感光材料工業会
(一財)日本ウエザリングテストセンター (一社)日本ゴム協会 (一社)日本塗料工業会
日本プラスチック工業連盟 (一社)日本防錆技術協会 (一社)表面技術協会 (公社)腐食防食学会
スガ試験機(株)

主催：(公財)スガウェザリング技術振興財団